

圏域	日時	テーマ	課題	備考
第1	①2022.7.13 ②2022.12.8	①「高齢者の通院や買い物における移動手段について現状と課題」 ②「高齢者の移動手段について、生活支援サービスについて」	① ・総合病院への通院手段 ・買い物の手段 ・住民ボランティアだけでの移動支援の難しさ	
第2	①2022.7.14 ②2022.11.17	①「まちづくり協議会や民生委員等、地域住民団体と医療・福祉の専門職との連携」 事例：夫の死別により独居となった認知症高齢女性を地域でいかに支えていくか ②独居高齢者への支援について	① ・専門職は患者の情報をいかに共有（流す）するのか。 ・今回の協議で未だ地域包括支援センターの使い勝手が機関同士の関係性によって差がある事が判明したので、専門職がその場で気軽により情報提供がしやすい啓発ツールを開発し、窓口に掲示するなどの工夫をしてきたい。	※本日2回目開催中
第3	①2022.7.25 ②2022.11.30	①「身寄りなし、金銭管理困難者の方に対する支援、8050問題における同居家族への支援、認知症高齢者の老々介護は潜在しやすく支援が遅れて、問題が深刻化するケースなど、傾向、課題の共有 ・独居高齢者、高齢者のみ世帯について ・地域でのゴミ出しについて ・ヤングケアラー ②「ヤングケアラーについて」	①いずれの課題も、高齢者のみの問題ではなく、全年齢に共通する課題である為、各関係機関は常に連携したチームワークが求められる。	
第4	①2022.11.17	①「長太、箕田、若松地区における認知症状のある高齢者の見守り支援等について」		※本日開催中

第5	①12月予定	①「行方不明高齢者ネットワークについて」(高齢者の一人歩き等) (案)		
第6	①2022. 6. 27 ②2022. 11. 4	①「高齢者の抱える問題～ゴミ出し～」 ②「ペット問題について」	① ・ヘルパーの訪問時間が間に合わない。 ・ゴミ集積所が遠く、自力でゴミを運ぶことができない。 ・専門職が地域と繋がっておらず、うまく相談ができない。 ・地域の助け合いサービスにおいて市の規約や誓約によりゴミ処理の活動がしにくい。 ・地域で孤立している高齢者は周囲で異変に気づきにくく、認知機能低下が進み、問題が大きくなってから露呈することとなる。 ②報告書作成中	
第7	①2022. 12. 1	①「高齢者のつどいの場(サロン)について」(案)		
第8	①2022. 9. 26 (7. 25延期分)	①「地域課題の把握と情報共有」	① ・専門職と地域住民など多職種・他機関で関りをもつことで情報共有できるようにしていく。 ・生活支援での見守り体制の強化、男性が参加しやすい集いの場、鈴鹿市の見守りあいネットをはじめ、企業との連携など地域の仕組みづくりができればいい。	

- ・ウィズコロナで各圏域で感染対策を講じた上で開催をしている。各圏域で第2回の開催予定も始まってきている。
- ・10月から自立支援型地域ケア会議がスタートしたため、個別ケア会議と併せて圏域での課題が今後、上がりやすくなることが予想できる。